

がん検診受診率向上強化への 取り組みについて

がん検診受診率向上強化への取り組み

堺市におけるがん検診受診率及び精密検査受診率の向上と、医療費の削減及び死亡率の減少を達成するため、より効率的かつ効果的に、それぞれの組織の業務連携によるがん受診率向上に関連する取り組みを集中する事業を展開する。

事業イメージ

これまでの課題：それぞれの組織でがんに関する取り組みを行ってきたが、多くの事業で連携が取れずそれぞれに取り組みされており、受診につながる効果的な啓発等が行えていなかった。

①堺市、保健センター

これまでの主な取り組み

- ・イベントや地域へ出向いてのがん予防啓発の実施
- ・乳幼児健診等での禁煙指導、受動喫煙防止啓発
- ・各種がん検診の実施(集団・個別)
- ・健康づくり自主活動グループ育成
- ・地域がんサロンの開催
- ・小、中学校でのがん教育

③患者会など

これまでの主な取り組み

- ・がん患者会の会報誌の作成、講演会、交流会の開催
- ・店舗などによるがん関連事業啓発の実施、従業員への検診受診勧奨
- ・受動喫煙防止のための取り組み(店舗内、事務所内)

②がん診療拠点病院、地域医療機関

これまでの主な取り組み

- ・がん検診の実施、受診啓発、がん登録事業への協力
- ・緩和ケアの啓発、在宅緩和ケアマップの作成
- ・地域連携パスの導入実績の向上
- ・標準的ながん医療を受療できる体制の充実
- ・情報提供・相談支援機能の強化し、こころのケア、就労支援を充実

強化事業

- ・検診台帳の作成と未受診者への勧奨と要精密検査者の追跡と管理【①、②】
→対象者名簿を作成、啓発パンフレット等の改良
- ・小、中学校でのがん教育の実施【①②③④】
→医師、看護師、がん経験者などによる授業と保護者への啓発
- ・医療機関、地域などとの連携【①②③④】
→保健センターを中心とした地域が一体となった啓発を実施

④学校、地域など

これまでの主な取り組み

- ・小6、中3でのがん教育の実施
- ・地域活動での健康づくりに関する活動実施

がん検診受診率向上強化への取り組み

これまでの受診率向上対策と予定

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度以降
堺市	節目年齢への案内送付、イベントでの周知				個人の特性に応じた勧奨を実施	強化事業の開始
		受診促進企業との協定	パートナー登録開始、イベントの共催	協会けんぽとの協定	被扶養者への啓発及びがん検診の周知	
がん診療拠点病院				がん検診ポスター掲示	各種がんパンフレット配架、医療機関検診の充実	
市民団体等			各保健センターでがん経験談の講演開始		独自の取り組みを活用した啓発事業の開始	

個別通知による勧奨

関係機関などとの連携による啓発・勧奨

科学的根拠に基づく受診率向上策

米国疾病予防管理センター（CDC）では、受診者を増加させる介入方法に関する科学的根拠を示し、以下の方法を推奨している。
 「個別受診勧奨」、「スモールメディア（個人特性に応じたパンフレット）」、「1対1での教育」

事業目標の設定

〔5年計画〕当面の目標として、平成26年度地域保健・健康増進事業報告の全国平均の受診率（69歳以下）を上回ることを目標とする（最終目標は市・職域併せて50％）。精密検査受診率は、国の許容値以上を目標とする

平成26年度実績	全国	大阪府	堺市	堺市の受診者数 (子宮、乳は2年間の受診者数)	全国平均受診率を目標とした場合の増加すべき受診者数
胃がん	9.3%	5.6%	4.2%	5,858人	7,061人
肺がん	16.1%	10.0%	4.4%	6,123人	16,242人
大腸がん	19.2%	13.9%	14.6%	20,246人	6,425人
子宮がん	32.0%	29.5%	33.0%	46,373人	—
乳がん(40歳以上)	26.1%	25.5%	24.8%	24,048人	1,160人

別途、具体的な強化学業の内容についても、上記の目標をもとに事業実施回数、参加者数などの目標値を設定する。

目標値達成条件(5年間で達成)

受診者数対前年比20%以上(子宮、乳は現状の受診者数以上を維持)

堺市がん検診受診率向上強化への取り組み

ターゲットの明確化

具体的な取り組み

住民との協働による受診率向上へのチャレンジ

健康状態

良



不良

検診

受診

未受診

未把握グループ
(受診勧奨必要)

早期発見・早期治療の対象

把握グループ
(継続受診勧奨)

未把握グループ

健康相談・受診勧奨対象者

把握グループ
(精検未受診者)

精検の受診勧奨と結果追跡

受診機会の拡大

保健センターなどを会場とした検診実施回数の増と保健師による健康相談の実施
健康保険協会との連携による検診日程拡大

啓発・連携

【がんについての正しい知識の普及】

がんの健康教育による地域全体への啓発

【地域】

自治会、老人会、女性会、子供会、子育てサークル等での健康教育

【学校】

生徒・教職員・保護者へ健康教育

【企業】

従業員に対する健康教育と企業活動を通じた市民への啓発

【保健センター】

胃がん・肺がん検診受診者、乳幼児健診受診者への健康教育

【連携】

ボランティア組織と連携した啓発

(各区健康づくり推進委員会・8020メイト・食生活改善普及推進員・歯ッピー栄養クラブ)

台帳管理

未把握グループの把握
未受診者に対する受診勧奨
精密検査未受診者への相談と受診勧奨と追跡管理

受診率向上

○地域への啓発(自治会、老人会、女性会、子供会、子育てサークル等)

対象: 子供から老人まで

内容: 地域組織へ働きかけ、地域での集まりの機会を捉えて、がんの予防知識の普及のための健康講座等の出前教室を行う。がん検診制度のチラシなどによる周知も実施。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

○学校への啓発(小学校、中学校等)

対象: 児童、生徒、保護者、教師

内容: 小・中学校で行っているがん教育を医師又は看護師などが行う。またPTAの研修会等の機会に医師による講演の実施、教師へ医師などによるがん教育の実施を行う。がん検診制度のチラシなどによる周知も実施。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

○企業への啓発

対象: 従業員、経営者

内容: 受動喫煙防止対策、禁煙指導、がん検診の受診啓発、がんに罹患した従業員への治療と仕事の両立支援を実施。顧客に対してのがん検診受診啓発の協力も依頼。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

○胃、肺の個別検診実施、医療機関での受診勧奨及び堺市での台帳管理

内容: 胃、肺の個別検診実施。医療機関にてがん検診の受診勧奨を実施。また、精密検査依頼書の発行の徹底と精密検査実施報告書の報告の徹底。市では対象者台帳を作成し、がん検診未受診者への勧奨ハガキなどの送付。また、精密検査未受診の方への個別勧奨を実施。

実施者: 堺市、医療機関

検診台帳の作成と台帳を活用した勧奨【健康医療推進課、保健センター】

- 住民情報と健康情報のデータを組み合わせ、検診台帳を作成。
- 検診台帳を活用し、受診勧奨対象者の優先付けを行う。【過去5年間に1度しか受診していない者等を優先し勧奨】
- 実施した実績を入力し、事業実施評価の際に集積したデータを分析する。

住民基本情報



堺市保健衛生情報システム
(がん検診の受診歴などを管理)

検診台帳(2か月毎に情報を更新)を作成【健康医療推進課】
主な項目:氏名、性別、年齢、住所、過去のがん検診受診状況(精密検査受診状況を含む)、保健センターの健康教育等への参加状況、市民税の納付方法など

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
健康医療 推進課	・検診台帳作成 検診歴、年齢、性別などの 情報を基に勧奨優先順位付 け(不定期受診の者など)		・勧奨通知 発送			
保健セン ター				・個別訪問による受診確認・未受診勧奨 ・精密検査未受診者への訪問		

受診状況等の記録をシステムへ入力